

卒業生による就職支援講座の開催について

医療介護福祉科では、就職支援講座として1年生を対象に『就職活動および介護の仕事を通して これだけはやっておきたいこと、大切なこと、後輩に伝えたいこと』と題する就職支援講座を毎年開催しています。この会は、介護福祉士として介護現場で活躍している先輩から、今後の就職活動に向けての心構えや準備についての話を聞き、助言を得るとともに意識の向上を図るものです。今年度は、平成30年2月19日に、川崎医科大学総合医療センターの医療介護福祉士、特別養護老人ホームせとうちに就職した卒業生2人が、それぞれの立場から自身の就職活動体験や後輩へのアドバイスなどがありました。

参加した学生は、「病院や施設の話聞いて就職活動について実感した。先輩のプレゼンテーションを聞いて、施設のゆったりした楽しい様子も分かったり、病院の目指すものも違ったりするので、自分の合うのはどちらか考えて進路を決めたいと思った。」
「施設でも病院でも介護福祉士は働いていて、利用者さんや患者さんが元気になっていく姿であったり、レクリエーションで利用者さんと交流している話を聞いて、1つに候補を絞るのもいいが、様々な施設の見学してみるのがよいのではないかと考え、就職活動の参考になった。」との感想があり、就職に向けてこれまで以上の意欲を高める機会となりました。

同窓会の支援を受けてこのような講座を実施できることに対し、感謝申し上げます、今後とも後輩の指導にご助力いただけますようお願いいたします。



就職活動や現在の仕事についてDVDで紹介してくれました。



医療介護福祉士として、「病院で働く」介護福祉士の仕事、多職種との連携、医療知識の必要性を話してくれました。